

ノボリコ捕れたよ

日南親子50人伝統漁体験

県総合博物館講座「酒合川のノボリコ漁と生き物」は12日、日南市の東光寺橋東側河川敷に集合し、親子約50人が参加した。伝統のノボリコ漁を体験し、川の生き物を観察した。

伝統を継承する大切さや河川保護と地域文化への興味・関心を培うことを目的として毎年実施している。

ノボリコ漁保存会の那須義春代表(87)や太田祐光さん(77)ら地元講師と参加者が敷網を1カ所設置。網を揚げるまでの時間に参加者は川

に入り、カゲロウやカワゲラなどの幼虫を捕まえ、博物館の学芸員に名前や特徴の説明を受けていた。また、昼には前日に仕掛け、捕まえたノボリコの天ぷらも振る舞われた。

午後には、設置していた網を引き揚げると、たくさんノボリコが跳びはね、一斉に集まった子どもたちが手づかみで捕まえていた。

宮崎市から家族で来ていた



ノボリコ漁体験を楽しむ児童ら

新屋敷祐人ちゃん(4)は「天ぷらがおいしかった。捕まえたノボリコを家に持って帰りたい」と話していた。

たい」と話していた。

小山博学芸員は「昨年は水量がなく、数が少なかった。

たくさん捕れた経験を子どもたちにしてもらえて良かった」と話していた。